

Project Name

さいころくらぶ

どんな家庭の子どもたちにも落ち着いて過ごせる居場所を

現在、子どもの6人に1人が貧困状態にあると言われています。そのため家庭で学習できない子ども、学習する意味を見いだせない子ども、夜間一人で過ごさなければならない子ども、兄弟姉妹の世話をしなければならない子どもがいます。これは一見すると本人のやる気や家族の問題のように思われるかもしれませんが、これらは子どもの努力や責任、能力とは無関係なのです。また、家族の責任を追及しても問題は解決しません。

私たちは、そのような子どもたちに学習支援と落ち着いて過ごせる居場所をつくろうと、毎週土曜日18時から「さいころくらぶ」を開いています。メンバーは社会福祉士・臨床心理士などのスタッフとボランティアで構成されています。不定期ですが、季節のイベントも行い、みんなで楽しんでいます。8月末にもみんなで料理をつくるイベントを企画しています。

私たちの活動で子どもの抱えている問題をすべて解決できるわけではありません。しかし、どんな家庭の子どもでも楽しく生活できるよう、また、落ち着いて学習できるよう支援し、地域で支えられ学力や進路選択の面で不利な状況が解消されるよう活動を続けていきたいと思っています。



左から順に：勉強風景 / イベント / イベント / 連携会議写真

Group Name

NPO法人くらしき教育発達研究所さいころ

平成23年にNPO法人を設立し、主に障がい児通所支援事業を実施し、障がい児本人はもちろん、保護者やきょうだいが楽に生活できるよう支援しています。平成25年に、生活困窮世帯の学習支援、居場所づくりとして「さいころくらぶ」を開きました。

【お問合せ】Tel…086-425-2123 Fax…086-425-2123 E-mail…kurashiki-saikoro@joy.ocn.ne.jp

担当者名…菊池・上村 Web…<http://labopsycholo.web.fc2.com/>



事業概要

事業の目的

生活困窮世帯の子どもは、学力が低い傾向があるだけでなく、学習意欲自体が低い傾向があること、学習するうえで不利な環境にあることが知られています。このような問題を解決し、貧困の連鎖を防ぐことを目的としています。

活動内容

子どもの状態にあわせて、悩みの相談やアルバイトや入試の面接の練習などもしてきました。また、子どもが行きたいと思える場所になるよう調理などのイベントもおこなってきました。

団体からのメッセージ

同じ地域で困っている人を一緒に支援しましょう。ご協力をおねがいします。

私たちが大切にしていること…不利な状況にある当事者だけが努力するのではなく、みんなが助け合い、誰もが今よりも楽しく生活できることを大切にしています。

この活動を通じて得たもの…同様の問題意識を持った方たちと関わることができ、地域のあたたかさや問題の根深さを感じています。

